

平成22年度第3四半期決算概要

23年2月

頭取 中西 勝則

Dream with you.



SHEZUOKA BANK

静岡銀行



目次

22年度第3四半期決算の概要

●第3四半期決算の状況		1
●貸出金		2
●与信費用		3
●リスク管理債権		4
●有価証券		5
●預金等		6
●預り資産		7
●自己資本比率の状況		8
●株主還元		9
●自己株式取得実績		10
●22年度の業績予想		11

参考資料

●預貸金利回り		12
●手数料収益		13
●一般貸倒引当金		14
●経費		15
●資本政策		16
●グループ会社の状況		17



第3四半期決算の状況

《連結》

(億円)

	21年度 第3四半期	22年度第3四半期		
		実績	前年同期比	進捗率
経常収益	1,645	1,583	△62	75.9%
経常利益	382	514	+132	88.6%
四半期(当期)純利益	241	298	+57	89.0%

《単体》

(億円)

	21年度 第3四半期	22年度第3四半期		
		実績	前年同期比	進捗率
経常収益	1,434	1,363	△71	75.7%
業務粗利益	1,182	1,178	△4	77.4%
資金利益	987	969	△18	76.3%
役務取引等利益・特定取引利益	115	104	△11	66.2%
その他業務利益	80	105	+25	111.5%
(うち国債等債券関係損益)	(66)	(86)	(+20)	119.2%
経費 (△)	615	609	△6	74.9%
実質業務純益※1	568	569	+1	80.4%
基礎的業務純益 ※2	501	483	△18	76.0%
一般貸倒引当金繰入額 (△)	71	17	△54	27.1%
業務純益	497	552	+55	85.6%
臨時損益	△134	△82	+52	70.9%
うち不良債権処理額 (△)	129	73	△56	80.7%
うち株式等関係損益	6	1	△5	—
経常利益	363	470	+107	88.8%
四半期(当期)純利益	238	291	+53	89.5%

※1 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

※2 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

(億円)

〔資金利益内訳〕

	22年度 第3四半期	前年 同期比
国内業務部門	879	△24
うち貸出金利息	785	△37
有価証券利息配当金	145	△25
預金等利息 (△)	50	△34
国際業務部門	90	+6

〔与信費用〕

(億円)

与信費用(△)	91	△109
うち一般貸倒引当金繰入額(△)	17	△54
個別貸倒引当金繰入額(△)	47	△68

〔株式等関係損益内訳〕

(億円)

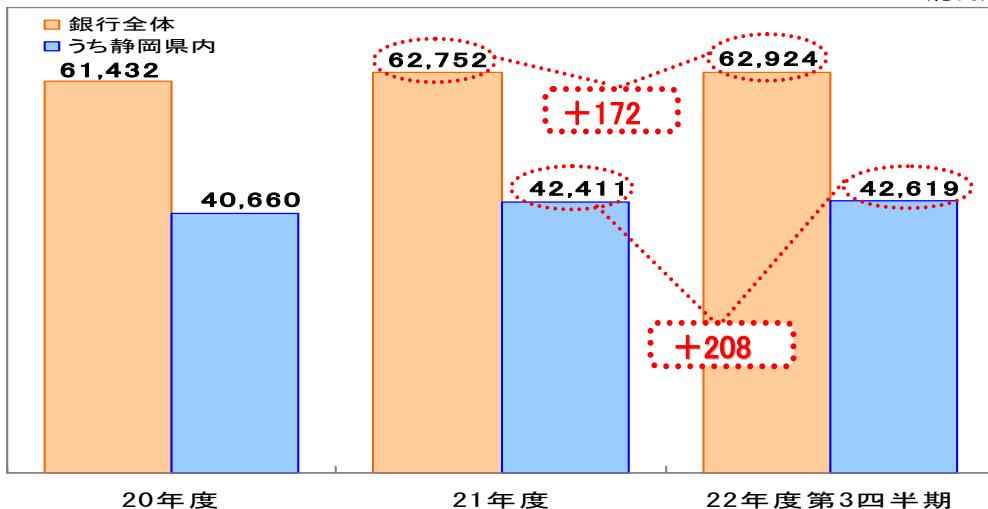
株式等関係損益	1	△5
うち株式等売却益	3	△23
株式等償却(△)	2	△12



貸出金

貸出金残高（平残）の推移

（億円）



- 22年度第3四半期の貸出金残高（平残）は6兆2,924億円と前年度比+172億円の増加

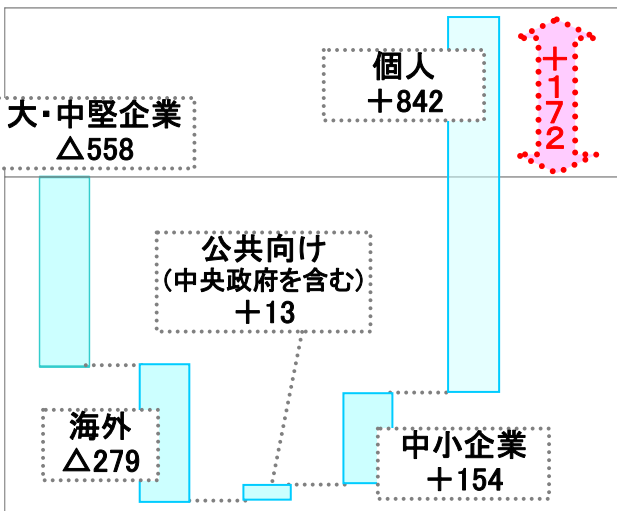
- ・ 中小企業向け貸出金残高2兆5,715億円
前年度比+154億円
- ・ 個人向け貸出金残高2兆1,527億円
前年度比+842億円

- 22年度第3四半期の貸出金残高（末残）は6兆4,708億円と10年3月末比+1,695億円の増加

貸出金（平残）の増減内訳

【増減額内訳（前年度比）】

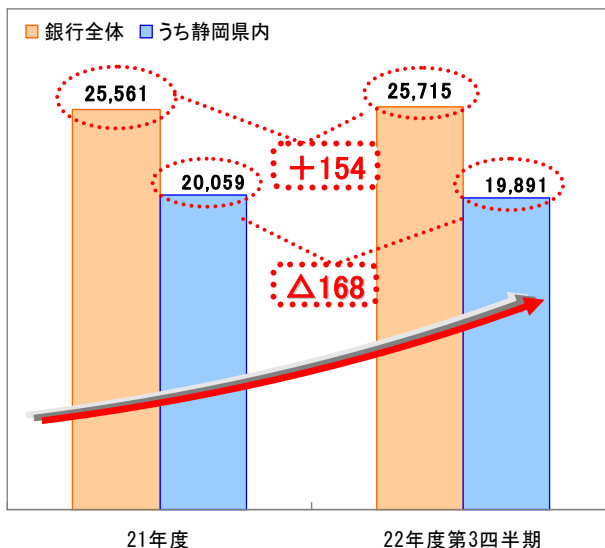
（億円）



うち中小企業向け貸出金残高（平残）の推移

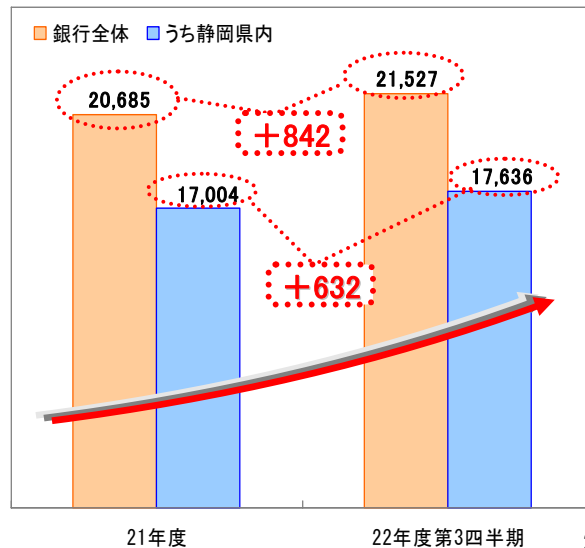
※地方公社を含まない

（億円）



うち個人向け貸出金残高（平残）の推移

（億円）



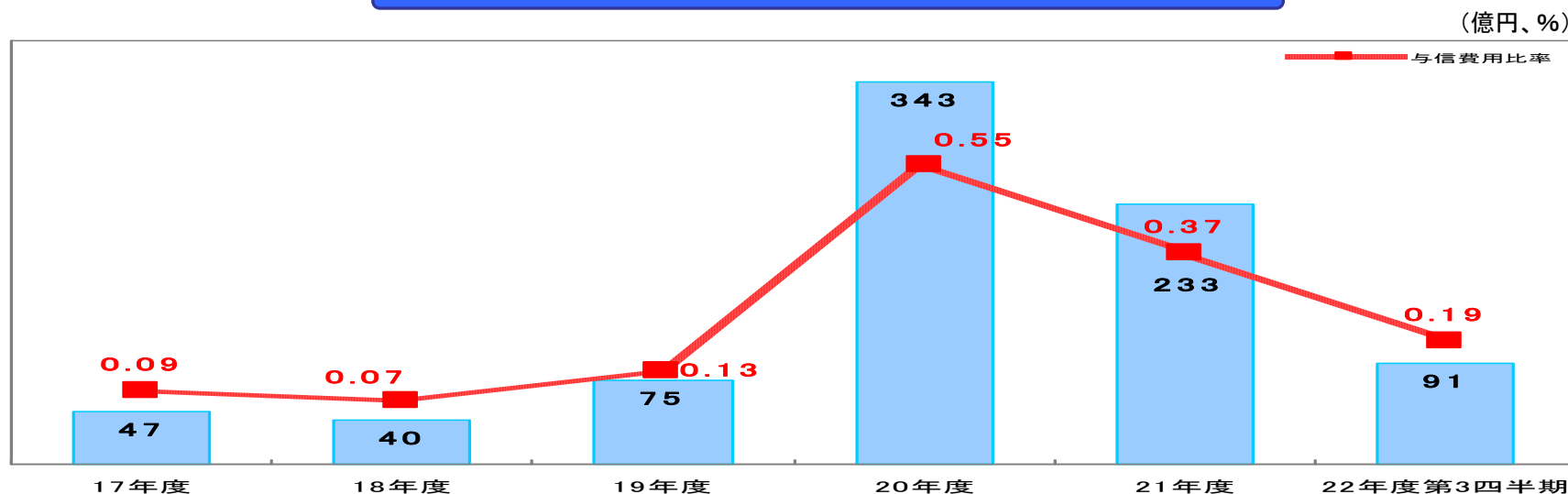
与信費用：22年度第3四半期 91億円（前年同期比△109億円）
与信費用比率：22年度第3四半期 0.19%（前年同期比△0.23%）

【与信費用内訳】

- 一般貸倒引当金繰入額 17億円（前年同期比 △54億円）
- 不良債権処理額 73億円（ // △55億円）
- うち個別貸倒引当金繰入額 47億円（ // △68億円）

・債務者区分の変更等 93億円
・担保評価下落等 8億円
・格上、回収等による取崩 △54億円
合計 47億円

与信費用・与信費用比率の推移



※与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額－貸倒引当金取崩額
与信費用比率＝与信費用÷貸出金平残
19年度以降の不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額等を含む

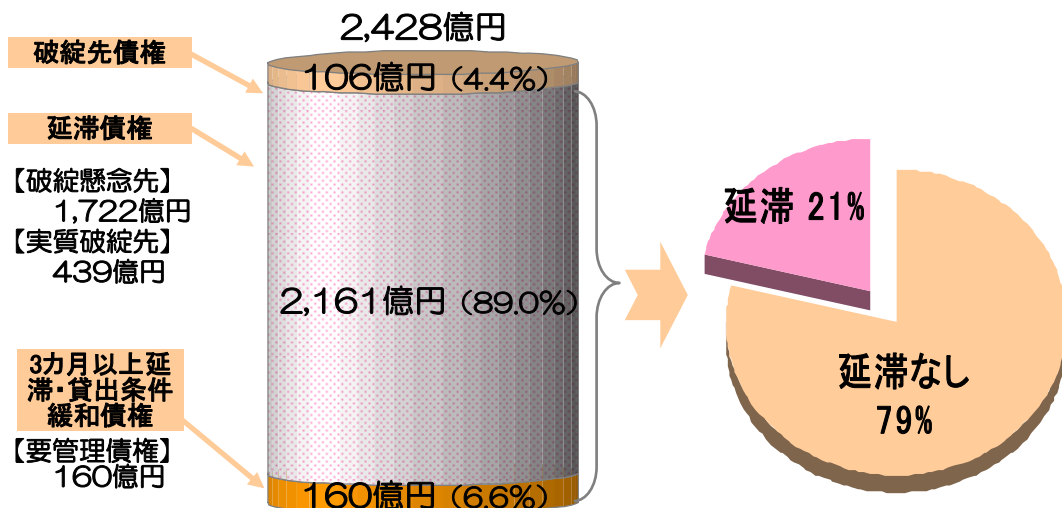


リスク管理債権

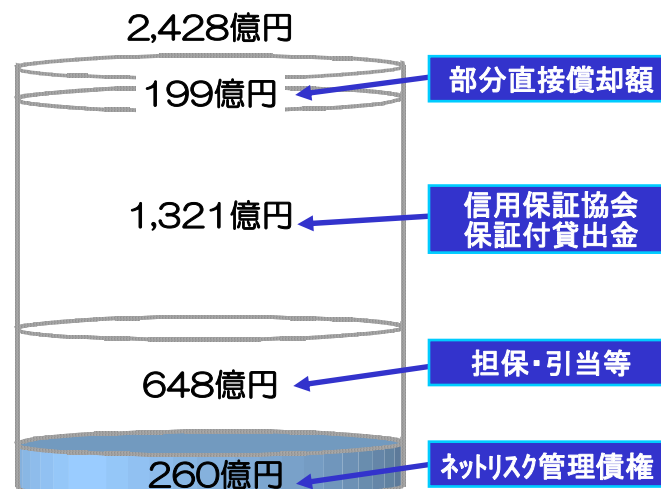
リスク管理債権の状況（単体ベース）

- 22年12月末のリスク管理債権の総額 2,428億円（10年9月末比+68億円）
- リスク管理債権比率 3.75%（ // +0.05ポイント）
- ネットリスク管理債権（単体ベース） 260億円（ // +15億円）
- ネットリスク管理債権比率 0.40%（ // +0.02ポイント）

リスク管理債権の内訳



実質的なリスク管理債権



不良債権のオフバランス化

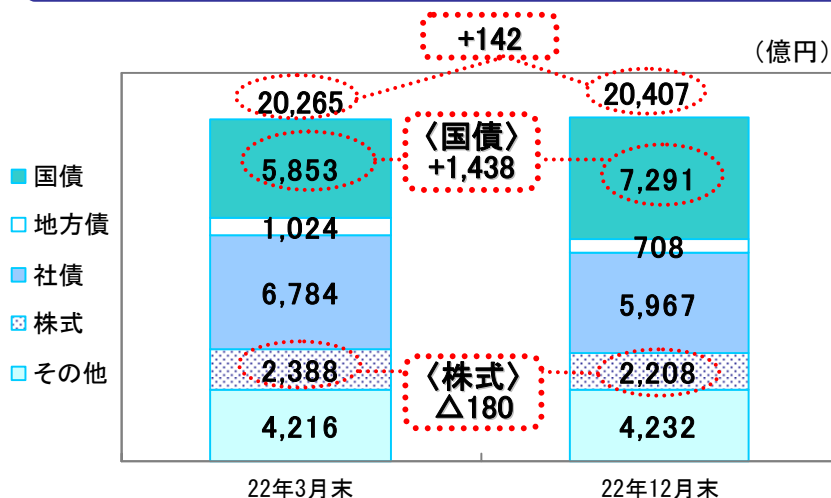
	(億円)	20年度	21年度	22年度上期	22年度 第3四半期(3カ月)
新規発生		+ 8 9 2	+ 9 7 7	+ 3 8 0	+ 2 0 6
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)		△ 7 6 5 (△ 5 3 2)	△ 7 6 4 (△ 6 9 5)	△ 3 1 5 (△ 2 8 8)	△ 1 3 8 (△ 1 2 8)
リスク管理債権		2, 0 8 2	2, 2 9 5	2, 3 6 0	2, 4 2 8



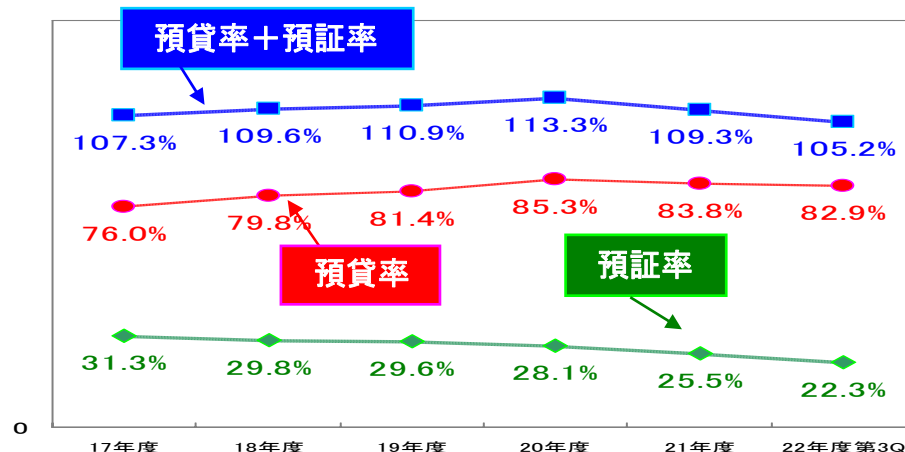
有価証券

- 22年12月末の有価証券残高 2兆407億円（22年3月末比 +142億円）
- 22年12月末の株式・債券・投資信託等の有価証券評価損益+1,165億円（同 △167億円）
うち株式評価損益+961億円（同 △184億円）

有価証券残高の推移



預貸率・預証率の推移



外貨債券の主な内訳

(億円)

	(簿価)	22/3比	(評価損益)
ジニーメイ	3,466	361	+28
ファニーメイ	0	△20	—
フレディマック	0	△182	—
米国債	16	△76	△0

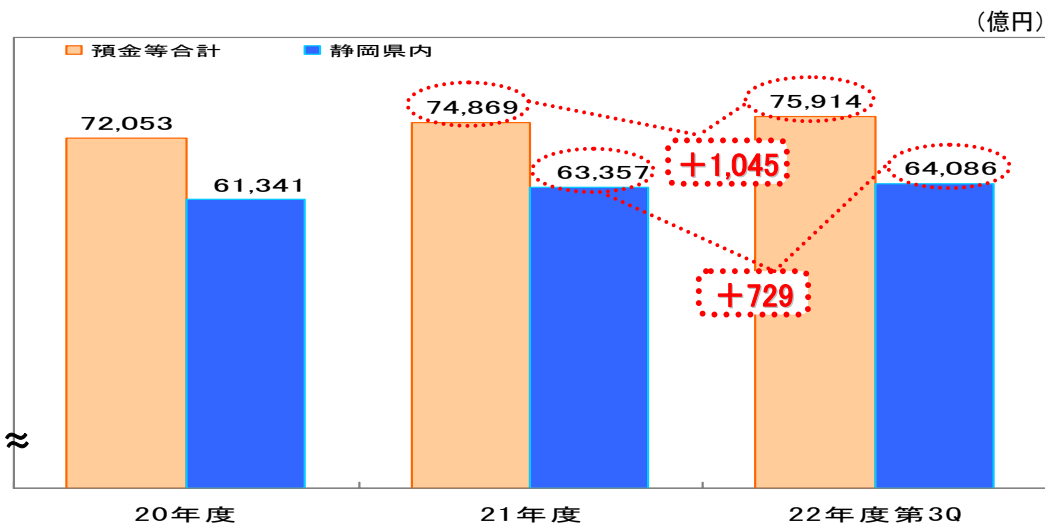
債券平均残存期間・有価証券評価損益の推移

	22年3月末	22年12月末
円債デュレーション	4.73年	5.16年
外債デュレーション	2.60年	2.15年
有価証券評価損益	1,332億円	1,165億円
うち株式	1,145億円	961億円
日経平均株価	11,089.94円	10,228.92円



預金等

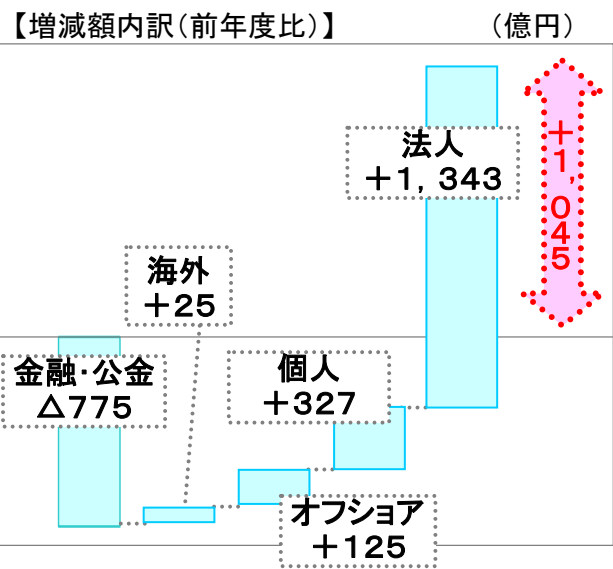
預金等残高（平残）の推移



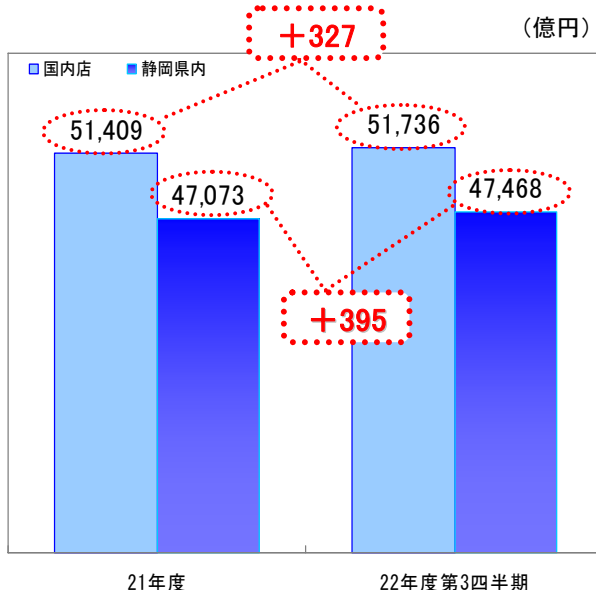
●22年度第3四半期の譲渡性預金を含む預金等残高（平残）は7兆5,914億円と前年度比+1,045億円の増加

- ・国内営業店預金等残高7兆3,974億円
前年度比+895億円
- ・静岡県内預金等残高6兆4,086億円
前年度比+728億円
- ・個人預金等残高5兆1,736億円
前年度比+327億円
- ・法人預金等残高1兆9,559億円
前年度比+1,343億円

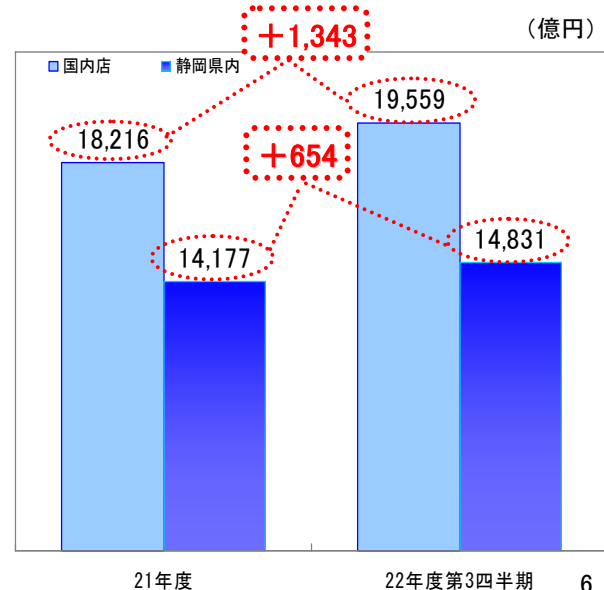
預金等残高（平残）増減額の内訳



うち個人預金等残高（平残）の推移



うち法人預金等残高（平残）の推移



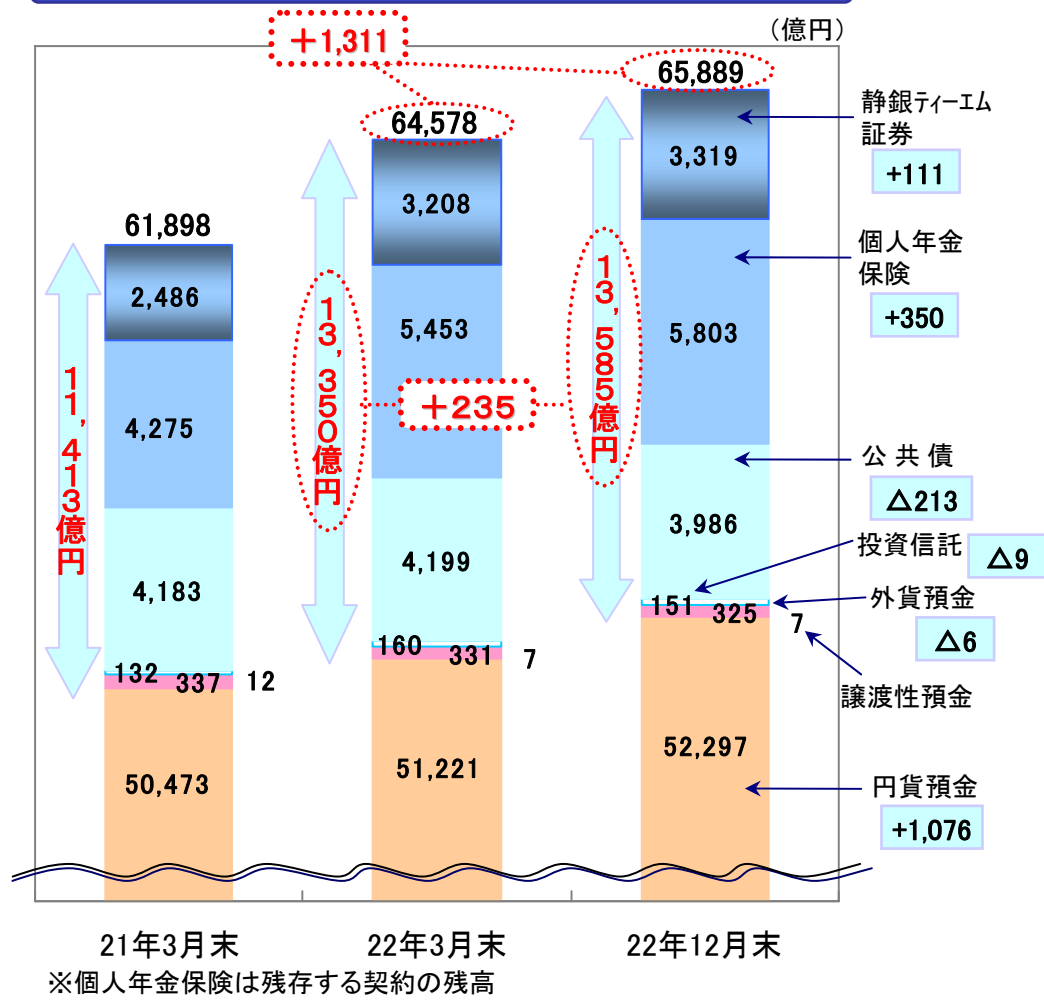


預り資産

- 22年12月末の個人預り資産残高(静銀ティーム証券を含む) 6兆5,889億円(22年3月末比+1,311億円)
- 資産運用商品(円貨預金、譲渡性預金を除く) 1兆3,584億円(同 +234億円)

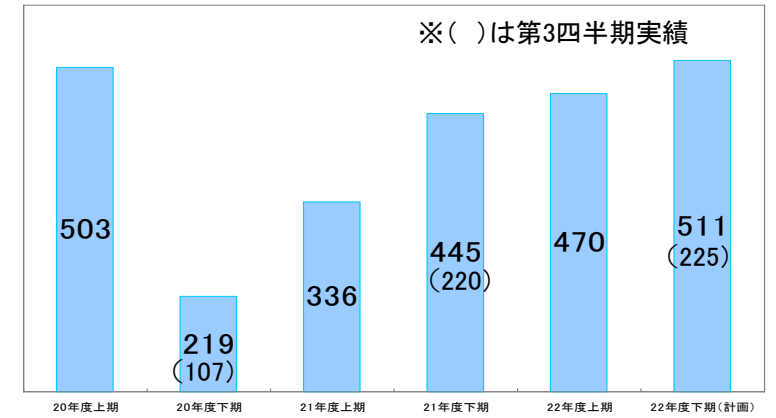
個人預り資産（末残）の推移

(億円)



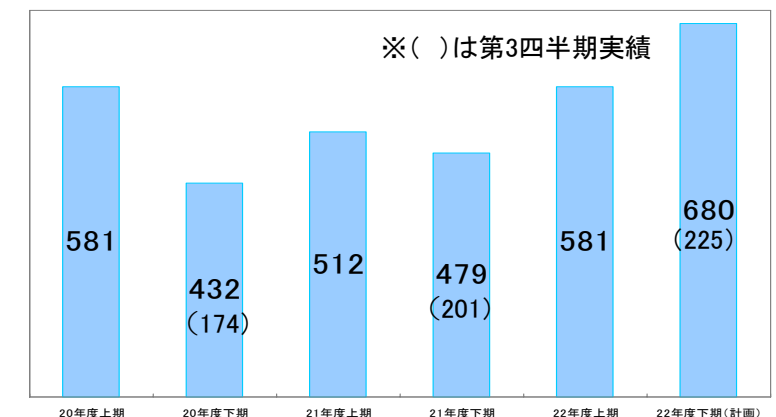
投資信託販売額（静銀ティーム証券含む）の推移

(億円)



個人年金保険窓販額の推移

(億円)



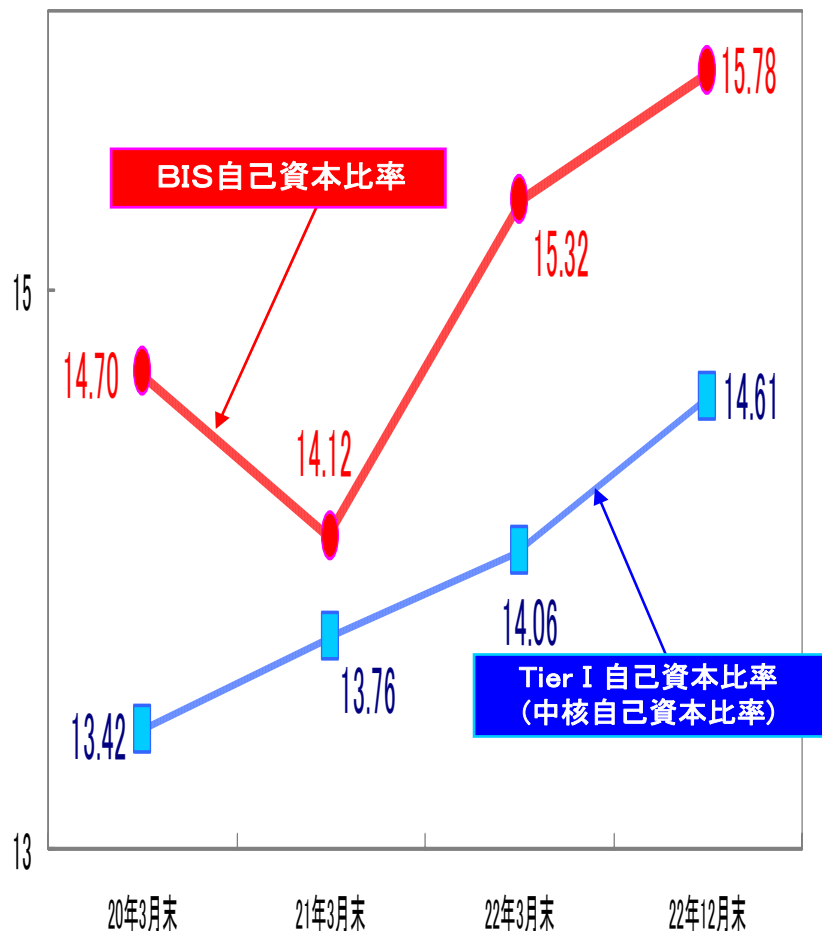


自己資本比率の状況

- 22年12月末 バーゼルⅡによる自己資本比率 15.78% (22年3月末比+0.46ポイント)
- Tier I 比率 (中核自己資本比率) 14.61% (同 +0.55ポイント)
- 国際基準行を対象に実施された「定量的影響度調査(QIS)」の結果、所要自己資本水準に懸念はないと判断

BIS自己資本比率 (連結ベース)

(%)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	20年 3月末	21年 3月末	22年 3月末	22年 12月末	22年 3月末比
自 己 資 本	6, 504	6, 234	6, 878	6, 945	+67
うち Tier I	5, 938	6, 078	6, 314	6, 431	+117
うち Tier II	791	291	676	623	△53
リスク・アセット等	44, 232	44, 148	44, 889	43, 995	△894
信用リスク・アセットの額	40, 895	40, 946	41, 663	40, 707	△956
マーケット・リスク相当額に係る額	220	248	205	269	+64
オペレーショナル・リスク相当額に係る額	2, 837	2, 954	3, 021	3, 020	△1
フロア調整額	280	—	—	—	—

※ 自己資本には、優先株、劣後債務等を含まない

アウトライヤー比率 (22年第3四半期：単体ベース)

銀行勘定の金利リスク量	Tier I + Tier II	アウトライヤー比率
857億円	6, 761億円	12. 7%



株主還元

- 22年度中間配当額 6.50円（配当性向27.29%）
- 22年度も「配当性向25%程度かつ大手地銀最高水準」の配当維持を目指し、市場動向、業績等を勘案し決定する方針のもと、1株当たり配当額（年間）13円を予定
- 12年度から21年度までの10年間の株主還元率の平均は約6割と高水準を維持

配当額の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度予想
一株当たり配当額（年間）	13.00円	13.00円	13.00円	13.00円	13.00円（6.50円）
配当利回り（配当/期末株価）	1.03%	1.10%	1.47%	1.59%	—

（ ）は中間配当額

株主への利益配分の状況

（単位：億円、%）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度 予想	12～21年度実績 （10年間）
年間配当額①	92	91	91	91	88	687（累計）
自己株式取得額②	—	126	—	40	150	798（累計）
株主還元額③＝①＋②	92	218	91	131	238	1,486（累計）
当期純利益④	363	352	128	321	325	2,478（累計）
配当性向①/④×100	25.39	25.96	70.85	28.20	27.03	27.74（平均）
株主還元率③/④×100	25.39	61.82	70.85	40.64	73.13	59.96（平均）



自己株式取得実績

- 9年度以降、継続的に自己株式取得を実施、22年9月末までに131百万株を取得
- 22年度上期は、2度にわたり合計20,000千株の自己株式取得を実施

過去の自己株式取得実績

	取得株式	取得金額	消却株数	消却金額	株主還元率
9年度	7,226千株	9,997百万円	7,226千株	9,997百万円	90.3%
10年度	6,633千株	9,142百万円	6,633千株	9,142百万円	86.7%
11年度	8,357千株	9,143百万円	8,357千株	9,143百万円	51.4%
12年度	24,954千株	23,281百万円	24,954千株	23,281百万円	152.0%
13年度	8,234千株	8,267百万円	8,234千株	8,267百万円	165.4%
14年度	29,928千株	23,107百万円	—	—	229.4%
15年度	10,712千株	8,566百万円	30,000千株	23,381百万円	50.8%
16年度	—	—	—	—	17.1%
17年度	—	—	—	—	22.5%
18年度	—	—	—	—	25.3%
19年度	10,000千株	12,621百万円	10,000千株	10,130百万円	61.8%
20年度	—	—	—	—	70.8%
21年度	5,000千株	3,996百万円	5,000千株	4,638百万円	28.8%
22年度	※ 20,000千株	※ 14,980百万円	—	—	73.13%
累計	131,044千株	123,102百万円	100,404千株	97,981百万円	63.2%

・株主還元率＝(自己株式取得額＋配当支払額)÷当期純利益×100

※22年度取得株式数等は第3四半期までの実績



22年度の業績予想

- 22年11月公表値に対して修正なし

【連 結】 (億円)	21年度実績	22年度予想	
			前年度比
連結経常収益	2, 145	2, 085	△60
連結経常利益	539	580	+41
連結当期純利益	328	335	+7

【単 体】 (億円)	21年度実績	22年度予想	
			前年度比
経常収益	1, 860	1, 800	△60
経常利益	505	530	+25
当期純利益	321	325	+4

与信費用 (△)	233	154	△79
----------	-----	-----	-----

参考資料

Dream with you.



SHIZUOKA BANK

静岡銀行

預貸金利回り

- 22年12月の預貸金利回り差は、22年3月末比△0.03ポイントの低下

円貨貸出金・預金構成の変化（単月比較）

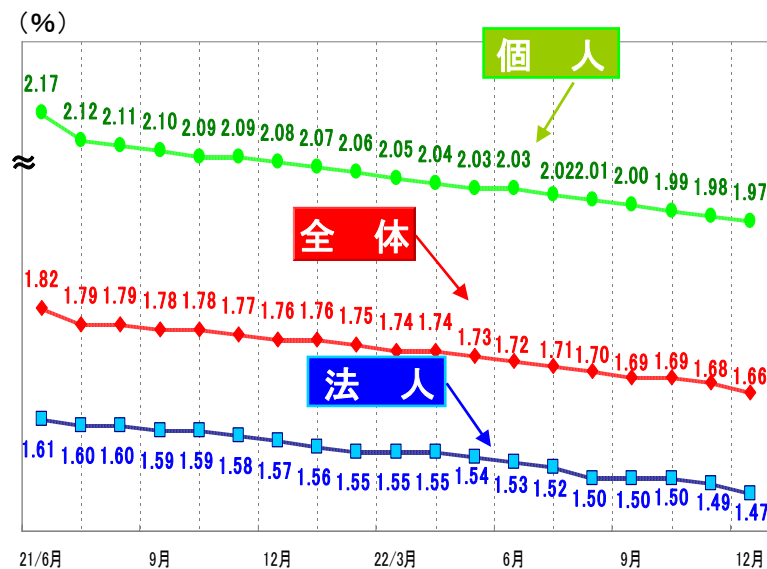
	〔22年3月〕		△0.08	〔22年12月〕		(兆円、%)
	平残(構成比)	利回り		平残(構成比)	利回り	
貸出金	6.1 (100.0)	1.74		6.2 (100.0)	1.66	
変動金利	4.5 (73.7)	1.67		4.7 (75.2)	1.60	
うち短プラ・新長プラ基準	2.9 (46.8)	2.08		3.0 (47.5)	2.04	
うち市場連動	1.6 (25.4)	0.86		1.6 (26.2)	0.76	
固定金利	1.6 (26.3)	1.91		1.6 (24.8)	1.83	

	〔22年3月〕		〔預貸利回り差〕 +1.62	△0.03	〔22年12月〕		1.59
	平残(構成比)	利回り			平残(構成比)	利回り	
預金等	7.2 (100.0)	0.12			7.3 (100.0)	0.07	
うち流動預金	3.9 (53.9)	0.02			3.9 (53.7)	0.02	
うち定期性預金	3.0 (41.3)	0.24			3.0 (41.0)	0.14	

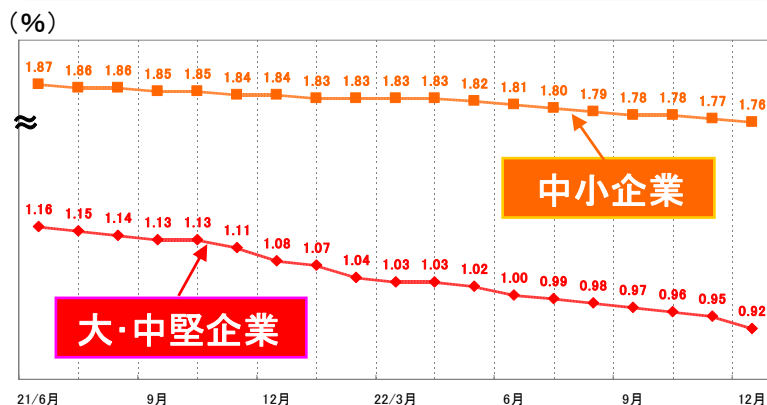
※預金等はNCDを含む

△0.05

貸出金利（月中平均）の推移



うち企業規模別法人貸出金利の推移

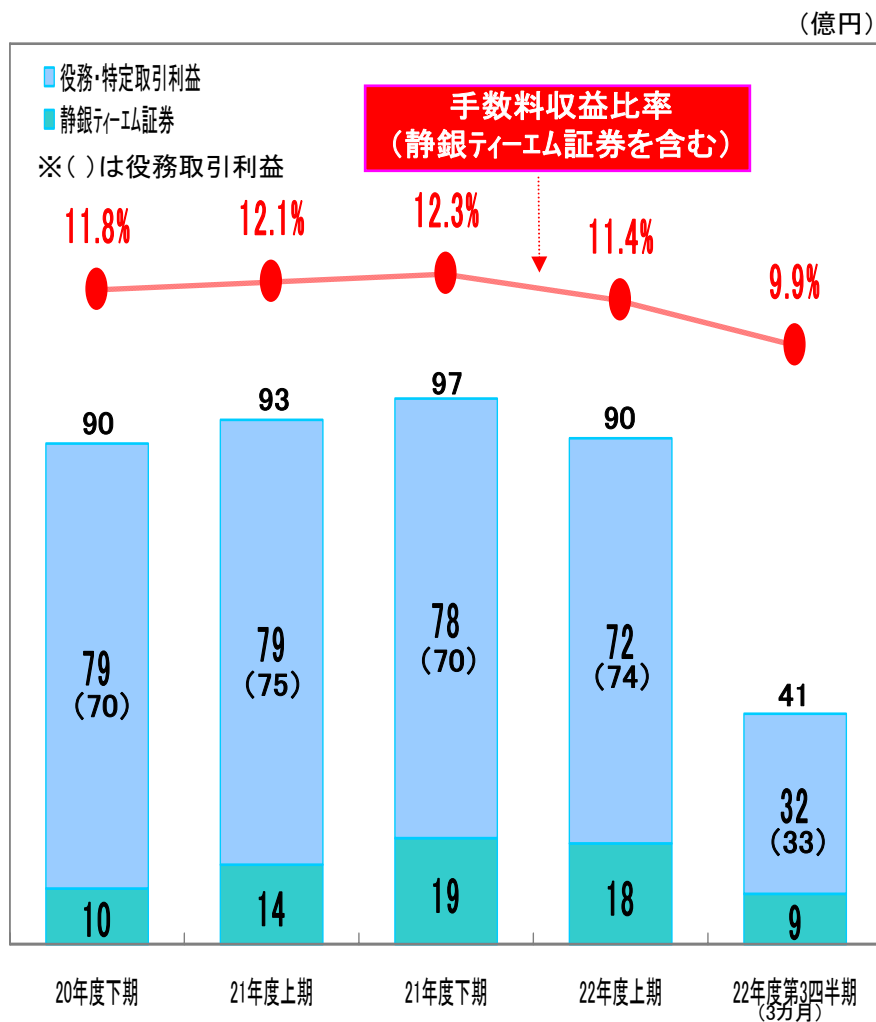




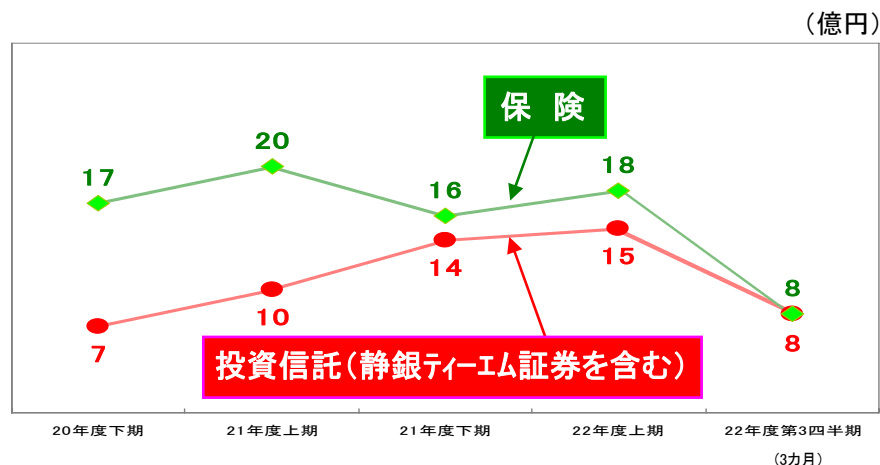
手数料収益

- 手数料収益は投資信託、保険窓販の販売低迷により減少

手数料収益（銀行・静銀ティーエム証券）



投資信託・保険販売の手数料収益



手数料収益・費用（役務取引等）

〔単体〕	22年度 第3四半期	前年同期比
	手数料収益	
手数料収益	171億円	+1億円
代理事務手数料 (保険窓販手数料など)	29億円	△2億円
受入雑手数料	71億円	+2億円
手数料費用	64億円	+1億円
支払雑手数料	25億円	△0億円



一般貸倒引当金

一般貸倒引当金＝債務者区分ごとの債権残高×予想損失率

↓
予想損失率＝貸倒実績率×一定期間

一般貸倒引当金の算定

債務者区分	貸倒実績率※ (%)	一定期間	
		静岡銀行における取扱 (平均残存期間)	正常先・要注意先1年 要管理先3年
正常先 消費者ローン A1、A2 B1～B3	0.07 0.03 0.37	11.09 2.22 2.01	1
要注意先 C0、C1 C2	1.29 1.75	2.41 2.87	1
要管理先 C3	1.35	3.25	3

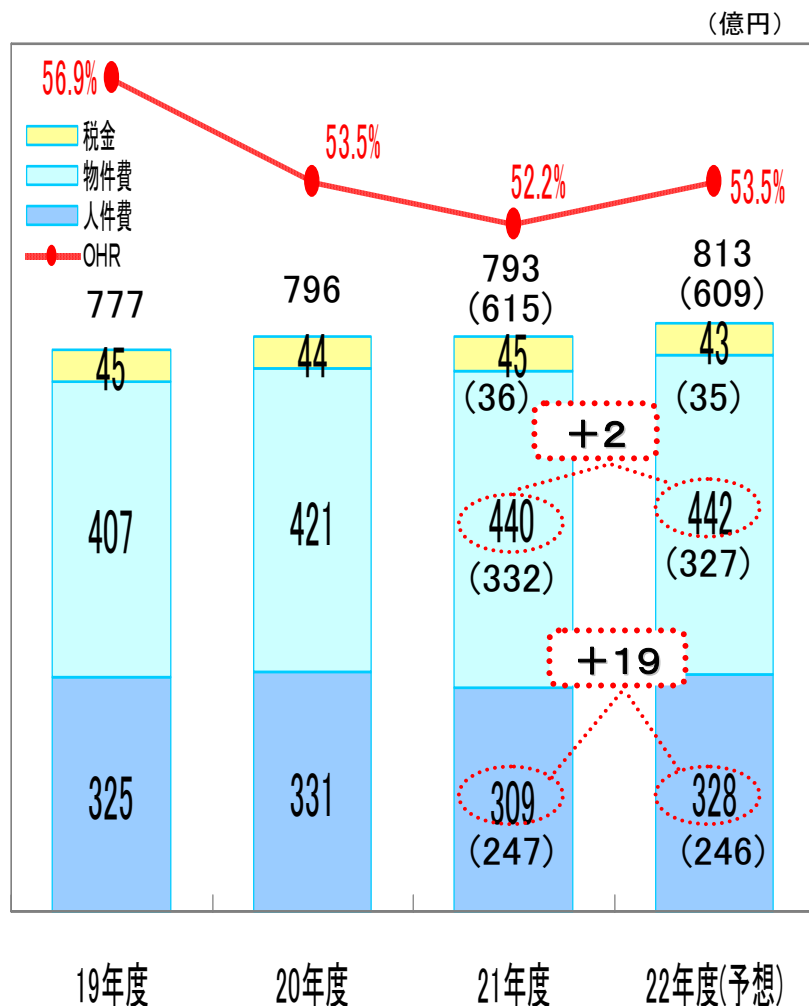
※貸倒実績率は5算定期間の平均と直近のいずれか高い率を採用

〔例〕 消費者ローン先の一般貸倒引当金繰入額

平均残存期間(11.09年)にて算出した繰入額＝52億円 ⇒ 1年ルールにて算出した繰入額＝5億円

- 22年度第3四半期 609億円(前年同期比△6億円)
- 22年度第3四半期 OHR(単体)51.7%(前年同期比△0.15ポイント)、22年度通期 OHR 53.5%(見込み)

経費およびOHRの推移



物件費の推移

(億円)

	19年度	20年度	21年度	22年度 第3四半期
物件費	407	421	440	327
システム関連	123	130	144	108
事務委託費	75	79	80	67
その他	209	212	216	152

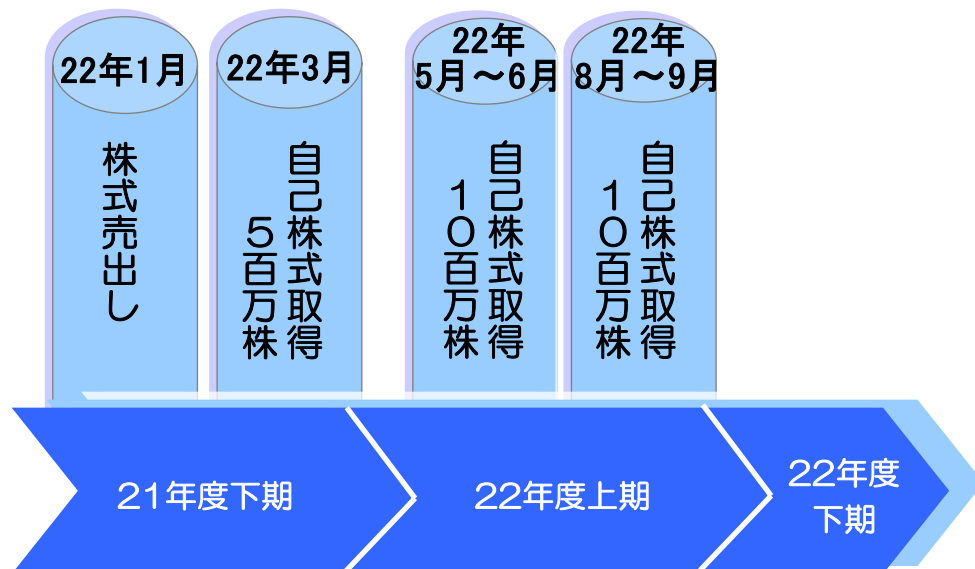
〔22年度稼働の主なシステム投資〕

- 自振システム、証券システム、コールセンターシステム更改による後方業務の効率化
- 融資支援システムの機能強化
- 諸届受付処理のワークフロー化（システム化）
- 金融商品販売支援システム稼働による営業活動の効率化、情報のデータベース化



資本政策

資本政策の取組み内容



株主数の推移

	21年3月	22年3月	増減
株主数全体	23,584先	28,806先	+5,222先
うち個人株主数	22,082先	26,998先	+4,916先
(個人保有株数割合)	16.7%	19.1%	+2.4%

22年1月	「株式売出し」実施	・ 売出し株数29,900千株（オーバーアロットメント3,900千株含む） ・ 個人株主数 約5,000先増加 ⇒「地域の個人株主増加」を実現（株主の裾野拡大）
22年3月	自己株式取得 5百万株	・ 株主価値希薄化の防止および株主還元の充実（オーバーアロットメント分の一部を自己株式放出により対応したため）
22年5月～6月	自己株式取得 10百万株	・ さらなる資本効率の向上および株主還元の充実（1株あたりの利益の改善等を通じた株主への利益還元）
22年8月～9月	自己株式取得 10百万株	

グループ会社の状況

- グループ会社（連結子会社11社）は、
経常収益343億円（前年同期比＋7億円）、経常利益38億円（同＋16億円）の増収増益

（億円）

会社名	業務内容	経常収益	前年同期比	経常利益	前年同期比
静銀経営コンサルティング(株)	経営コンサルティング業務	1	△1	△0	△1
静銀リース(株)	リース業務	179	＋9	15	＋13
静岡コンピューターサービス(株)	コンピューター関連業務、計算受託業務	36	△3	2	＋1
静銀信用保証(株)	信用保証業務	10	±0	6	△1
静銀ディーシーカード(株)	クレジットカード業務、信用保証業務	16	△1	4	＋1
静岡キャピタル(株)	株式公開支援業務、中小企業再生支援業務	5	＋1	3	＋2
静銀ティーエム証券(株)	金融商品取引業務	27	＋4	7	＋2
欧州静岡銀行	銀行業務・金融商品取引業務	3	△2	0	△0
静銀総合サービス(株)	労働者派遣業務等	25	△1	0	±0
静岡モーゲージサービス(株)	銀行担保不動産の評価・調査業務等	6	±0	0	△0
静銀ビジネスクリエイト(株)	為替送信・代金取立等の集中処理業務等	35	△1	0	±0
合 計（11社）		343	＋7	38	16
静銀セゾンカード(株) ※	クレジットカード業務、信用保証業務	7	＋2	△3	2

※持分法適用関連会社、19年4月開業

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。